



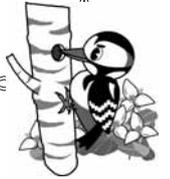
議会だより

なよろ

16

No.

2010.4.1 発行



2月13日、「雪に親しむぞう」の集い(東小学校)



2月19日、児童生徒と神田山陽さんとの交流(風連日進小中)



2月14日、日進スノーフェスティバル開会式オープニングでの風連御料太鼓の演奏(風連日進小中生)

第1回定例会

主 な 内 容	定例会で決まったこと	2
	審議日程・可決された意見書	2
	予算審査特別委員会	3
	自治基本条例審査特別委員会	3
	一般質問に8人	4~7
	議会スナップ・用語解説	8
	各委員会活動報告	9
	へこたれない・議会日誌・編集後記	10

第1回定例会 2月26日から3月16日の19日間

自治基本条例を制定

～市民と協働のまちづくりの基本理念、原則を明らかに～

平成22年第1回定例会は、2月26日(金)から3月16日(火)(新年度予算の審査特別委員会は、3月11日、12日、15日、16日開催)までの19日間開かれた。

議案等の審議では、平成21年第4回定例会で特別委員会を設置し付託した「名寄市自治基本条例の制定について」などの条例案16件、平成21年度補正予算案13件、平成22年度各会計予算案12件、その他議案6件、意見書2件を可決。「平成22年度各会計予算案」は、予算審査特別委員会を設置して付託し休会中審査した。「名寄市犯罪のない安全で安心な地域づくり条例の制定について」と「名寄市公共施設の暴力団等排除に関する条例の制定について」は、民生常任委員会に付託した。

一般質問は、3月9日(火)10日(水)の2日間行われ、8人の議員が市政に関する課題について質問した。

主な条例

名寄市自治基本条例の制定

市民と行政の協働のまちづくりを進めるため、まちづくりの基本理念、原則などを明らかにするもの。付託した自治基本条例審査特別委員会の報告を受け、文言の一部修正を行い、可決した。

ふうれん地域交流センター条例の制定

平成22年4月19日オープン予定のふうれん地域交流センターについて、開館時間や使用料等必要な事項を定めるもの。付託した総務文教常任委員会の報告を受け、原案どおり可決した。

可決された意見書

- ・農業農村整備事業の予算確保に関する意見書
- ・「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取組みを求める意見書

意見書とは、市の公益に関する事柄について、その実現のため、議会の意思を議決により決定し、国会または関係行政庁(国・道等)に提出するものです。

主な補正予算

地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業

地域の活性化に資するきめ細かなインフラ整備のため、国の臨時交付金を充当して、一般会計で西6条通道路改良舗装工事等50事業、下水道事業特別会計で2事業、簡易水道事業特別会計で1事業の計53事業、総額2億3,518万8,000円を追加した。

審議日程

2月26日(金)	15日(月)
・開会	予算審査特別委員会
・委員会報告	16日(火)
・行政報告	予算審査特別委員会
・議案の審議	・議会運営委員会委員の選任
予算審査特別委員会	・名寄地区衛生施設事務組合議会議員の選挙
3月9日(火)	・上川北部消防事務組合議会議員の選挙
議会運営委員会	・委員会報告
・議員の辞職について	・議案の審議
・一般質問	・意見書案の審議
10日(水)	・閉会
・一般質問	
11日(木)	
予算審査特別委員会	
12日(金)	
予算審査特別委員会	
議会運営委員会	

平成22年度 予算審査特別委員会

原案どおり可決

3月11日、12日、15日、16日

平成22年度予算審査特別委員会(宗片浩子委員長・大石健二副委員長・全議員で構成)は、3月11日、12日、15日、16日の4日間開催された。

市の22年度予算案は、4月に市長選挙を控えていることから、骨格予算編成となった。しかしながら、地元経済や雇用の安定など、市民生活への影響を考え、継続事業については、多くの事業を当初予算に計上となった。

22年度一般会計予算は前年度比6.5%減の186億7,970万7,000円、特別会計と企業会計を含む全会計総額は365億4,952万5,000円(前年度比8.5%減)、加えて風連特別区予算は5,297万7,000円(前年度比13.9%減)となり、2月26日の本会議で、全議員構成による予算審査特別委員会を設置し付託された。

同委員会は、一般会計予算の支出は款別ごとに審査したあと、一般会計予算歳入全般、各特別会計予算、各企業会計予算を審査し、いずれも質疑が相次ぎ、白熱した議論が展開された。

最終的には、平成22年度一般会計予算案、同国民健康保険特別会計予算案をはじめとする9特別会計予算案及び同病院事業会計予算案等2企業会計予算案については、審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定し、3月16日の本会議に報告した。



宗片浩子委員長(左)と大石健二副委員長(右)

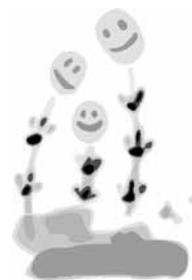
自治基本条例審査特別委員会

市の憲法できる

名寄市自治基本条例は、市民と行政の協働によるまちづくりを進めるため、まちづくりの基本理念と原則などを明らかにし、市民がよりいっそう主体的にかかわるまちづくりを行っていくため制定するもので、平成21年第4回定例会で提案され、13人の委員構成による特別委員会(岩木正文委員長・竹中憲之副委員長)を設置し付託された。委員会は、4回にわたり開催した。条例の策定経過、逐条解説並びに市民懇話会の答申との比較、さらに前文を置く市条例と前文の考え方等について担当職員より説明を受けた後、各章ごとの質疑をした。各委員からは、「市民」と「議会」と「市」の定義について、コミュニティ自治と住民自治について、コミュニティ支援

について等の多くの質疑がされた。委員間の合意形成のため、議会基本条例に基づいた委員間での自由討議を行い、20項目以上の活発な意見が出され、「この条例を単なる理念条例に終わらせてはならない」、「施行後に、行政・議会・市民を含めて、実行のための一歩が始まる」、「議会の役割、責任は大きいことの意識をしっかりと持つべき」ということに意見が集約された。

以上の議論経過により、名寄市自治基本条例は、文言を一部修正し可決すべきものと結審した。平成22年第1回定例会初日(2月26日)に可決された。



一般質問



望湖台の存続に向けて

凜風会

佐藤 勝 議員

再度の説明会を予定

問 望湖台市民意見交換会で出された意見は、「初めに廃止ありき」ではなく今後の利用の傾向、営業努力を見極めながらの判断をすべきと訴えていて、前向きな意見は説得力があった。福祉の利用も増加していて、大きな判断材料にすべき。

答 8回開催し、約200人の方々と意見交換を実施した。ほとんどが存続を希望するもので、高齢者の憩いの場を奪わないでほしいと強く訴えていた。振興公社株主は市理事者の決定に従うという考えで、今後試験的にバス運行など利用増の取り組みを進め、22年度前期に再度地域説明会を開催し、存廃の結論を出したい。

緊急通報の対応



名寄市の活性化を目指す

市政クラブ

黒井 徹 議員

食肉センターの改築

問 食肉センターは、昭和39年に建設され老朽化が著しく、今後も、畜産振興、雇用の確保の意味からも重要な施設と考える。加工場を含む食肉センターの早期改築を望む。

答 21年1月に実施した耐震調査では、基準値を大幅に満たさず、改築が急務である。現在、畜産支援活性化プロジェクト事業があるが、規模的に合わないため、加工場のみを対象となる。市としては、23年に加工場が新設された後、現加工場をと畜場に改修する方向性で検討している。想定される予算は、5億円程度と考えている。

駅横開発事業について

問 市有地の譲渡議決後の 西條、商工会議所、

問 消防・救急など緊急通報の初動体制に対し、市民から不安の声がある。市民の安心・安全確保のため、消火栓除雪を含めた市の対応は。

答 本署と出張所の連携を密にし、より効果的体制を構築していく。団塊の世代の複数退職に伴う技能伝承についても研修・訓練を重ねさらに努力する。消火栓は23年度以降、多雪型(150)への更新(旧型70cm)を予定している。他の質問・今冬期除排雪の経過と課題・市内小中学生教育の今後に望むこと(学力向上に向けて)



望湖台センターハウスでは「すきやき宴会」企画など、積極的な営業努力が続けられている

行政の三者で進めている事業内容は。

答 西條の商業施設に併設する施設は、協議中だが、新たに住宅型有料老人ホームを建設し、4月中旬から着手する。一方、行政は、22年度中にJR用地を取得して、バスターミナル等の機能等について詰めていく。会議所が事務所の設置も含めて事業主体となる予定で進めている。他の質問・島市政の総括について・新農業政策の影響について



畜産振興、雇用確保のため食肉センターの早期改築が望まれる

一般質問



市民が主役のまちづくり

緑風クラブ
大石 健二 議員

■ 中心市街活性化の課題を問う

問 中心市街地の核(コア)となるべき地区、市街地中心部の活性化への道のりがさっぱり見えてこない。風連地区の再開発の成功事例と対比して何がネック(妨げ)となっているのか。

答 再開発はあくまでも民間事業。その事業の地権者やリーダーとなるべき人が、事業をいかに前向きに捉え、まとめていくかという強い気概を持たなければ多くの困難を伴うことにならざるを得ない。

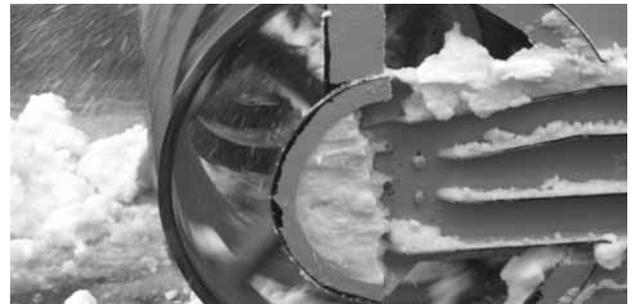
■ 排雪費用は除雪の135～205倍

問 今冬の1km当たりの排雪費用は除雪の135倍から205倍もかかっている。市民の皆さんに雪対策や問題点を知ってもらうことが必

要であり、その一策として関係部門と地域連絡協議会などで除排雪対策事業に対する理解度を深める協議会を設置する考えは。

答 従来までの全面排雪を、カット排雪にすることでスピーディーに作業を行いたい。これまで一方的に作業を行ってきたが、今後は効率的な除排雪を行うため、地域住民の皆さんと協議する場を検討したい。

他の質問・名寄市自治基本条例の施行に伴う周知プログラムについて・名寄市職員人事評価制度の問題と課題を問う



例年になく積雪に排雪が間に合わない



安全な除排雪と環境を

市民連合
竹中 憲之 議員

■ ゴミ減量化と分別の徹底

問 埋め立てゴミ、資源ゴミ、生ゴミの分別の徹底で、最終処分場の延命、害鳥被害の抑制を。

答 最終処分場における生ゴミ混入には、大変苦慮している。処分場での受け入れ時に、搬入者への分別指導をさらに強化する。「事業系ゴミ分別排出マニュアル」を作り、配布・説明して協力を求めている。また、事業系ゴミについては炭化センターと協力し大型店に対するゴミの分別調査・指導を行ってきた。市内事業者・個店に対しても分別指導を行って、事業者の処理責任についても説明し協力を求めてきた。処分場に生ゴミや資源ゴミを混入させないことが処分場の延命、さらに害鳥の減少につながると

考えている。今後も継続的に粘り強く説明、指導を実施していく。

■ 排雪の遅れから交通事故

問 今冬は、排雪が遅れたことで、交差点での事故が多発した。警察との連携や交差点の排雪のあり方を変更することは考えられないのか。

答 警察とは、連携を取って対策をしてきた。交差点の排雪変更は、作業時間のこともあり考えられない。

他の質問・住宅リフォーム助成事業・公営住宅家賃滞納問題について



分別の徹底が求められる最終処分場

一 般 質 問



目指そう！景観日本一

市政クラブ
佐々木 寿 議員

■ 名寄景観日本一を公募

問 名寄には雄大な自然があり、素晴らしい景観が埋もれている。景観日本一の情報を公募し、全国に発信し、観光につなげたいが見解は。

答 名寄には道内外に誇れる自然がある。それらの魅力を発掘し、観光関係諸団体と連携を図り、現在の観光スポットと発掘した景観と観光施設とを上手に融合し、道内外に広めていく。

■ 名寄岩生誕事業の取り組み

問 名寄岩を郷土の誇りとし、将来に語り伝える百年事業に取り組むべきだが見解は。

答 名寄にとっても、当市の名前を全国に知らしめた功労者である。昭和 50 年にスポーツセンター前庭に顕彰銅像を建立した。北国博物館内

にもゆかりの品を展示してある。名寄相撲協会は毎年、名寄岩生誕記念子供相撲大会を開催している。過去、生誕 80 年、90 年事業を実施して顕彰してきた。生誕 100 年事業は、4 年後となるが、どのような形にするか関係者と相談させていただく。

他の質問・風連地区を含む町内会活動の現状と課題・市民スキー大会・産業高校の振興・食べ物を捨てない、残さない運動の推進・名寄駐屯地の堅持、基地周辺整備事業について



名寄の名前を全国に知らしめた功労者「名寄岩」とその銅像



24 時間保育等の課題

市民連合
佐藤 靖 議員

■ 先送り事業は 38 本、約 6 億円

問 22 年度は市長選挙執行で骨格予算²となった。これに伴う先送り事業と今後の財政見通しは。

答 新年度予算案は、地域経済や雇用安定に配慮しながらも骨格編成とした。先送り事業は、JR 名寄駅横の複合交流センター整備、庁舎改修など 38 本、事業費にして約 6 億円。新政権には地域主権改革、社会資本整備事業交付金などを期待しているが、市としては各種未収金対策、収入確保、行財政改革に取り組み、財政の健全化に努める。

■ 児童学科の 4 大化、24 時間保育などが課題

問 初めての卒業生を送り出す名寄市立大学の将来的課題は。また、名寄市立総合病院の医療

スタッフ動向及び経営展望、特に医師と看護師確保のため病院保育所の 24 時間運営、看護師等学資金貸付枠拡大、名寄市立大学看護学科との連携が必要ではないか。

答 名寄市立大学では、将来において短期大学部児童学科の 4 大化、大学院、図書館が課題。

医療スタッフ確保は厳しい面もあるが、3 月末で 18 人が退職する看護部門では一定の補充が行えた。24 時間保育等は大きな課題であり、実現を目指して積極的に検討する。



医療スタッフ確保のため 24 時間保育が必要に
(名寄市立総合病院院内保育所つぼみ)

一般質問



雇用の確保と保障を

日本共産党

川村 幸栄 議員

市の雇用対策について

問 自治体で働く非正規労働者、公共事業などを受注した企業で働く労働者を、ワーキングプアにしてはならない。帯広市では、委託業務などの履行に当たって、必要に応じて地元業者・資材を積極的に活用し、雇用の安定と就労の促進を図ることなどを求めている。また、失職者への仕事、生活資金の貸付、生活保護、住宅確保など一体で進める「ワンストップの総合相談窓口」を開設している。名寄市の考えは。

答 委託業者などには、発注時に口頭で、社会保険の加入など、強く要請している。文書による実施に向けて検討したい。ワンストップサービスも、ハローワークや事業者などと協議を進



万が一事故に遭ったら

緑風クラブ

山口 祐司 議員

市民の活動をサポート

問 市主催以外の自主的な市民活動に参加されている方が、万が一事故に遭われた場合に備えて「市民活動保険制度」を創設し、市民活動をサポートしてはどうか。

答 現行の町内会の役員の活動に対する助成と、市民総合賠償保険制度を活用していく。しかし、自治基本条例が4月から施行され、今後、ますます市民の皆さんの自主的な活動は重要となるので、市民活動保険制度を設けている自治体の取り組みを調査・研究したい。

高齢者介護相談の入り口

問 地域包括支援センター風連地区サブセンターの業務を名寄地区包括支援センターへ統合

めたい。

介護者への支援は

問 介護保険制度創設後10年経過。保険料・利用料の負担も重い。介護を必要としている高齢者や家族にとって深刻な状況である。民間活力による施設整備の状況と介護労働者への保障は。

答 市内外の事業者から、小規模多機能型居宅介護事業や介護付有料老人ホームの開設が計画されている。国の介護職員処遇改善交付金事業の実施で一定の成果が見られている。

他の質問・後期高齢者医療制度について



高齢者の安心・安全を保障する介護保険制度の充実を
(ケアハウスフロンティア)

することで、風連地区の相談支援サービスの低下が懸念されるが。

答 家族関係の希薄化、虐待の対応など相談内容が複雑化し、高度な相談技術が必要となっているため、保健師・社会福祉士・主任ケアマネ等、それぞれの専門知識を活かしながら、常に情報を共有し、連携・協働の体制をつくり「チーム」として効果的、効率的な支援体制の強化を図る。介護保険に関する申請、相談は今までどおり、風連庁舎で受け付ける。



市役所名寄庁舎に一本化される地域包括支援センター

議会スナップ



寺山和幸教授からあらためて名寄市立大学の存在意義を学んだ

議会議員会新年研修会 1月12日開催

市議会議員会は1月12日、寺山和幸名寄市立大学教授を講師に迎え「地域がキャンパス 市民とともに歩む名寄市立大学」と題した講演による新年研修会を行った。

干支のすべり台を制作

第26回ふうれん冬まつりが開催され、名寄市議会議員会は、今年も恒例の干支のすべり台をつくり、多くの市民に楽しんでいただいた。



2月8日～10日 議員会総出で「虎のすべり台」の制作にあたった。

◆◆◆ 用語解説 ◆◆◆

1 名寄岩

名寄岩静男、1914年9月27日に小樽市で生まれ、名寄市で育った。本名は岩壁静男。鍼灸師になるべく両国の専門学校に通っていたところを立浪親方の強引なスカウトを受けて入門。1932年5月場所で初土俵、1943年に大関昇進したが、ケガと糖尿病などの疾患で2度陥落、その後さまざまな病気とケガで幕内の二桁台まで落ちた。1952年9月場所には横綱千代の山から金星を奪うなど、9勝6敗で再び敢闘賞を受賞し、その当時の姿を描いたのが日活映画「涙の敢闘賞」である。

2 骨格予算

法令上の概念はないが、首長や議会の議員の改選を目前に控えている場合等において、1年間の行政活動をすべてにわたって予算計上することが困難、あるいは適当でないと判断した場合、新規の施策などを見送り、また政策的経費を極力抑え、義務的経費を中心に編成された予算をいう。

3 ワーキングプア

正社員並みに、あるいは正社員としてフルタイムで働いてもギリギリの生活さえ維持が困難、もしくは生活保護の水準にも満たない収入しか得られない就労者の社会層のことであるが、日本ではジャーナリズムから出た用語であるため学術的な定義があるわけではなく、政府、法令上でも明確な定義づけはない。

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

平成21年第4回定例会で付託された「ふうれん地域交流センター条例」案について、2月2日及び15日に委員会を開催し、慎重に審査を行った。担当職員との質疑、建設中の同センターの視察、議会基本条例第11条第2項に基

づく委員間における自由討議を行った結果、使用料負担軽減、利用時間帯の見直し検討を求め原案通り可決すべきものと決定した。



ふうれん地域交流センターを視察

民生常任委員会

委員会は、平成21年12月24日と22年2月5日の2回開催し、平成21年第4回定例会付託議案第8号に係る市立総合病院においてセカンドオピニオン（診断や治療法について第2の医師の意見を聞く）を行うに当たって、相談

料徴収のための条例改正について審査した。遠慮、ためらい等に対する対策を質問、確認し、全会一致で原案通り可決すべきものと決定した。



4月よりセカンドオピニオンが本格実施される名寄市立総合病院

経済常任委員会

1月26日に委員会を開催して現地調査を行い、風連本町地区再開発事業の地域交流センター等と望湖台センターハウスのボイラー等施設設備の視察をした。また、平成21年度冷害対策について、なよろ健康の森の利用状況及

びパークゴルフ場利用時間の設定について、道の駅の利用状況について、名寄駅横の開発計画の状況について報告・説明を受けた。



風連本町地区再開発事業の進捗状況を調査

建設常任委員会

2月19日に委員会を開催し、平成21年度建設水道部事業発注状況、建設水道部に係る地域活性化、きめ細かな臨時交付金について、市営住宅家賃滞納状況及び国道40号融雪溝落下事故の対応について、それぞれ報告を受けた。除

排雪の状況については、今冬の積雪の多さとダンプ車両等の不足により、例年より1週間程度作業が遅れているとの報告を受けた。



作業が急がれる市道の除排雪

議会運営委員会

委員会を2月22日、3月9日、12日開催した。第1回定例会の会期を2月26日から3月16日までとし、代表質問は行わず、一般質問のみとし、質問者は8人と確認した。議案審議は、「名寄市犯罪のない安全で安心な地域づくり条

例の制定について」、「名寄市公共施設の暴力団等排除に関する条例の制定について」の2議案及び「廃棄物処理施設整備事業（廃プラスチック油化施設）の採択について」の請願を民生常任委員会に付託し審査することとした。平成22年度名寄市各会計予算は、全議員による特別委員会を設置し、会期中に審査することとした。

へこたれない



名寄市立大学を卒業して
名寄市風連町 江尻 奈々

名寄市立大学が開学して早4年、私は1期生として卒業しました。仲間と過ごしたこの4年間は、たくさん笑い、遊び、私の人生にとって欠くことのできない1ページです。実習や研究、国家試験に追われ辛い時もありましたが、友人や先生、家族に支えられ乗り越えることができました。また、実習先の患者さんやご指導いただいた方など、お世話になったすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです。4月からは社会人として、新たな生活がスタートしますが、これからも一つひとつの出会いを大切に、感謝の気持ちを忘れることなく、日々成長していきたいと思います。



3年間ありがとうございました
名寄市 山科 舞
(風連高校第46回卒業生)

どんな行事にもついてしまう「最後の」という言葉に寂しさを感じながらも、遠足や国内旅行、芸術鑑賞など他の学校ではできない貴重な体験を、この3年間でたくさんさせていただきました。楽しかったことと同じくらい辛かったこともありましたが、仲間たちとの支え合いや先生方からのアドバイスのお陰で困難も乗り越えることができました。卒業すれば就職する人、進学する人と、それぞれ進む道は違いますが、私は、この3年間で培った精神や知識を生かして、自分なりにこれからの人生を築いていこうと思います。3年間、本当にありがとうございました。

議会日誌

- 12月15日 ・全国高速自動車市議会協議会による緊急要望
- 17日 ・議会報特別委員会
- 18日 ・自治基本条例審査特別委員会
- 24日 ・民生常任委員会
- 1月12日 ・議員会新年研修会
- 21日 ・議長会宗谷線部会(下川)
- 22日 ・自治基本条例審査特別委員会
- 26日 ・経済常任委員会
- 28日 ・全国高速自動車市議会役員選考委員会及び正副会長・監事・相談役会議(東京)

- 2月1日 ・各会派代表者会議
- 2日 ・総務文教常任委員会
- 3日 ・自治基本条例審査特別委員会
- 3日 ・全国市議会議長会基地協議会第73回総会(東京)
- 5日 ・民生常任委員会
- 8日 ・市議会共済会第99回代議員会(東京)
- 15日 ・各会派代表者会議
- 15日 ・総務文教常任委員会
- 19日 ・各会派代表者会議
- 19日 ・建設常任委員会
- 22日 ・議会運営委員会
- 22日 ・議会報特別委員会

編集後記

地球温暖化によるものか、初冬期から年明けは穏やかでしたが、1月中旬より異常気象となり、例年より積雪が多く除雪に苦労しました。排雪はダンプの確保がままならず、残念ながら生活道路が安全で快適なものとなっていませんでした。新年度の対策が求められています。

市民懇話会で2年間議論された、名寄市の憲法といわれる「自治基本条例」が4月1日から

施行されました。行政、議会と市民が一体となって、日本一住みやすいまちづくりのための第一歩が始まりました。

本年は、二つの大きな選挙が行われます。一つは身近な市長選挙(投票日4月18日) もう一つは7月に行われる参議院議員選挙です。どちらも重要な選挙です。棄権のないようにお願いします。(憲)

